

絵馬調査に関するデータベース項目の構築

佐々木祐輔*¹ 久世均

絵馬とは、神社や寺院に祈願するとき、および祈願した願いが叶ってその御礼をするときに寺社に奉納する絵が描かれた木の板である。個人で奉納する絵馬として、小型で馬などの絵が描かれ、余白や裏面に祈願の内容や氏名などを書くものが、現在多くの寺社で販売されている。大人数で奉納する絵馬には、大型で、有名な画家に描かせるなどして奉納することもある。小型の絵馬は五角形（家型）の物が多いが、これはかつて、板の上に屋根をつけていた名残であるといわれている。これらの絵馬調査については、酒田市の郷土史家の高山順吉氏と共に、昭和50年頃より山形県庄内地方に残る絵馬の調査を行っている。今回庄内地方に残る絵馬の悉皆調査を再度実施することから、絵馬調査に関するデータベース項目及び絵馬のシソーラスを構築したので報告する。

<キーワード>絵馬, データベース項目, シソーラス, 調査, フィールドワーク

1. はじめに

山形県酒田市は、古くは酒田大火、近年はアカデミー受賞作品「おくりびと」の撮影地として、全国に知れ渡っている。

筆者(佐々木)は、酒田市の郷土史家の高山順吉氏と共に昭和50年代から地域にある神社・寺社に奉納されている絵馬の調査を実施している。

しかし、昭和52年10月29日に、酒田大火があり、多くの神社・寺社の絵馬が焼失し、筆者が調査時に記録した記録カードと写真だけが残った。その後、昭和59年に山形県立博物館の事業として、「山形県の絵馬」を制作するために、山形県を8ブロックに分けて、調査員・協力員・各地域の教育委員会が共に調査をした。山形県内で2,083点、その内、庄内地区では222点を報告している。(実際には862点を調査している。)

昭和50年代の絵馬の調査は、映像記録を残していく場合、フィルム・現像・プリントと予算がかかり、カラープリントよりも白黒でのプリントが多いのが現状であった。

しかし、現在、デジタル時代となり、インターネットで各地の絵馬を見ることができる。そこで、再度庄内地域の絵馬をデジタル・アーカイブする調査・研究を行った。また、従来の調査では、絵馬に関する映像のメタ情報が不備で

あり、アーカイブして残すには、絵馬に関するデータベース項目やシソーラスを整備し、パブリック・ドメインとして共通したデータベース項目を構築することが急務となってきた。そこで、今後、絵馬の研究をする場合の共通のデータベース項目並びにシソーラスを開発したので報告する。

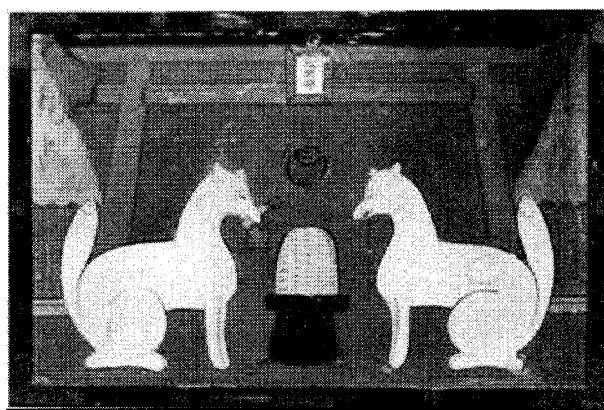


図1 絵馬

2. 絵馬のデジタル・アーカイブの課題

昭和59年に調査し庄内の絵馬に関する、資料の借用について、山形県立博物館の資料を調べたところ、各調査員が調べて収めた2,083点の資料がすべて廃棄され、すべて失ったことを知った。

*1 SASAKI, Yusuke : 岐阜女子大学 e-mail= horusuto2001@cpost.plala.or.jp

また、当時制作した「山形県の絵馬」の本についても、保管数を尋ねたところ1冊のだけしか残っていないという現状であり、また、酒田市の資料館でも、資料の管理が不十分で撮影した写真やネガ、資料が不明という現状であった。

県立の博物館や資料館も、調査した内容はその時には保管するが、担当者が変わったり、組織改編がある度に、貴重な資料や映像が紛失する。このような例は、他の自治体でもあり、自治体にアーカイブ化し、パブリックドメインとして記録するという概念がないのが原因と考えられる。

そこで、山形県全体としては無理でも、以前調査した山形県酒田市・庄内地方に残る、絵馬を再度悉皆調査し、開発したデータベース項目により記録し、絵馬について21世紀に残せる資料としてデータベースを構築した。

3. 絵馬のデータベース項目

今回開発した絵馬のデータベース項目について図2、3のように構築した。項目は、全部で37項目となり、絵馬1枚当たり37項目の情報を記録する。また、写真についても、デジタル一眼レフでなるべく高品位な映像を記録し、データベースに登録することにした。

絵馬の奉納してある神社・寺社の正面からの撮影、絵馬の正面から撮影、絵馬の裏面の撮影、特に沢山奉納してある神社・寺社については、どのように展示してあるか分かる様に、全方向撮影にて記録した。その他、記録することが必要な項目の主なものを示す。

(1) オーラル・ヒストリーの記録

沢山絵馬が奉納されている神社・寺社や、貴重な絵馬が奉納されている神社・寺社がどのように管理・保存してきたか、また、どのように伝承していくのかなどについて、神社の宮司等に直接インタビューをし、記録として残していく。(図3)

(2) GPS情報の記録と方位の記録

近年行政の枠組みの変化から、市町村合併により、旧市町村名から新たな市町村名に変更され、昭和59年頃の市町村名が失われてしまっている。そこで、GPS(Global Positioning System: 地球上の現在位置を調べるための衛星測位システム)の一種で、全地球測位システム、汎地球測位システム)による、緯度・経度・方位により位置を測定し記録を行う。(図2)

(3) 所在地の記録

絵馬の奉納されている場所を所在地として記録する。できれば、旧市町村名や絵馬の所在履歴、絵馬の展示場所等を記録することが必要である。

4. 文化情報収集データベースの記録項目

(1) 基本情報

①資料コード

資料管理全体を通して定めた各資料の番号を記入

②調査番号

絵馬調査に伴い各絵馬の調査番号を記入

③所在地

資料が存在する場所の県・市町村等住所を記入

文化資料収集データベース記録項目 (絵馬調査用)

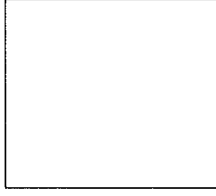
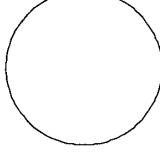
① 資料コード		
② 調査番号		
③ 所在地		
④ 奉納場所		
⑤ 作者		
⑥ 奉納者		
⑦ 材質	板・紙・布・漆・現物 その他 ()	
⑧ 寸法	外径 縦 () × 横 () 内径 縦 () × 横 ()	
⑨ 彩色	有 無	
⑩ 奉納年月日 (西暦)		
⑪ 内容分類 (画題)	馬・動物・魚・鳥・社寺・鳥 店・剣・参詣・講(説書講など) 祭・祈願(健康、乳、日など) 野菜 生産・産業・風景・風格・故事 談話・歌舞伎(役者を含む) 武者・武芸・相撲・神仏並びに 供養(ムカサリ・子供など) 琴風・船・漁業 その他	
⑫ 分類コード (カテゴリー番号)		
⑬ 索引語	資料にて索引を10語以内で記入する。	
⑭ 説明		

図2 絵馬の基本情報記録項目

④奉納場所

絵馬の奉納してある神社・寺社名を記入

⑤作者

絵馬を描いた絵師がわかる場合に記入

⑥対象者名 (奉納者名)

絵馬を神社・寺社に奉納した人の名前を記入

⑦材質

奉納してある絵馬の材質を記入

⑧寸法

絵馬の寸法

⑨彩色

奉納してある絵馬は彩色の有・無を記入

⑩奉納年月日 (西暦)

奉納している絵馬から奉納年月日が分かる場合記入

⑪内容分類

奉納している絵馬の描かれている絵を記入

⑫分類コード

各資料についての内容コードを整理

⑬索引語

資料について索引を10語以内で記入

(注) シソーラスが用意されている分野では、それらの用語を選択して記入する。

⑭説明

簡単な説明を記入

(注) シソーラスが用意されている分野では、それらの用語を選択して記入する。

⑮静止画A

絵馬の表, 静止画 (デジタル写真)

⑯静止画B

絵馬の裏, 静止画 (デジタル写真)

⑰静止画C

奉納されている神社・寺社の正面, 静止画 (デジタル写真)

⑱全方向360° 撮影

絵馬の奉納枚数が多い神社・寺社については360°全方向撮影で奉納している状態を見られるように記録

(2) GPS情報

⑲測定月日

GPSによる位置情報測定月日等を記入

(近年各地域において新しい行政の枠組みができ市町村名の変更があるためGPSによる位置を測定し管理する。)

⑳利用制限

県立博物館, 酒田市資料館, 会員内, 指定された市町村, 地域内などの提供できる場所の制限を記入

㉑登録者

データベースを記録者名を記入する。

㉒著作権 (全体)

全体にかかわる著作権をもつ団体・個人を記入

㉓所有者

所有権をもつ団体・個人を記入

㉔利用制限

原資料を提供できる場所・利用分野の制限が必要なときの制限を記入

㉕利用条件

原資料を利用する場合の条件を記入

㉖紹介施設

資料の所蔵場所・地域施設など記入

㉗撮影月日

調査した絵馬の撮影日等を記入

㉘資料の評価

資料を価値判断し, 今後の利用, 保存年限などの資料情報を記入

(3) オーラル・ヒストリー情報

(オーラル・ヒストリーについては, すべて実施するのではなく選別された中から必要と思われるものについて実施する。)

GPS 情報		オーラル・ヒストリー情報	
㉑測定月日		㉑記録月日	
㉒利用制限		㉒記録場所	
㉓登録者		㉓記録種類	
㉔著作権 (全体)		㉔発表者氏名	
㉕所有者		㉕発表者経歴	
㉖利用制限		㉖記録者氏名	
㉗利用条件		㉗オーラル・ヒストリーコード	
㉘紹介施設		㉘紹介施設	
㉙撮影月日		㉙利用条件	
㉚資料評価			
㉛文化財指定有無 国・県・市・文化財指定等 指定名			
㉜契約に関する記入			
㉝MEMO			

図3 GPS並びにオーラル・ヒストリー情報

㉙記録月日

オーラル・ヒストリーを行った月日を記入

㉚記録場所

オーラル・ヒストリーを実施した場所を記入

㉛記録の種類

オーラル・ヒストリーする場合の手法等, ハイビジョン, ビデオ, 静止画 (デジタルカメラ) 等を記入

㉜発表者氏名

発表者の氏名を記入

㉕発表者の経歴

発表者の経歴を記入

㉖記録者氏名

オーラル・ヒストリーを記録した氏名を記入

③⑤ オーラル・ヒストリー資料コード

オーラル・ヒストリーを実施し記録した資料にコード番号で記入

③⑥ 紹介施設

オーラル・ヒストリー資料の所蔵場所・地域施設などを記入

③⑦ 利用条件

原資料を利用する場合の条件を記入

③⑧ 文化財指定の有無

調査する絵馬が国・県・市の文化財指定を受けている時に記入

③⑨ 契約に関する確保

絵馬のデジタル・アーカイブで契約を交わしているかの有無を記入

④⑩ MEMO

調査時に気付いたことを記入

5. シソーラスの構築

シソーラス (Thesaurus) とは、単語の上位/下位関係、部分/全体関係、同義関係、類義関係などによって単語を分類し、体系づけた辞書のこと。絵馬の索引語や説明を記入するときに必要となるものである。絵馬の「図柄」という語を使っている記事を同じ意味の「デザイン」という語で検索しても、これまでの多くのデータベースでは検索できない。この橋渡しをして検索できるようにするためには、「図柄」と「デザイン」とは同じ意味であると語を意味によって整理してある辞書が必要になる。この辞書をシソーラスと呼ぶ。普通辞書は語をアルファベットや五十音順で整理してあるが、シソーラスとは意味で整理した辞書である。検索して記事が見つからなかったときや、逆に検索された記事が多すぎたときにより適当な検索キーを探すためにシソーラスを使う。

今回、絵馬のシソーラスを図5のように構築した。

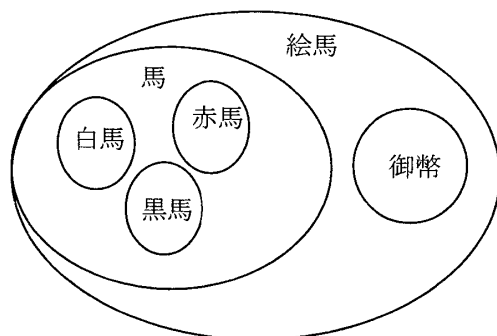


図4 絵馬におけるシソーラスの概念

カテゴリ番号	カテゴリ	絵柄	いのりのかたち	収録語数
		柿持猿	子授け・安産	
		桃持猿	同上	
		三猿	同上	
6	猫	猫	猫淵神社(岩手)神使・不動尊(宮城)の使い・つきもの落とし・養蚕の鼠除け・猫探し(稲荷社へ)・その他一切	
		目なし猫	猫探し	
7	狐	狐	稲荷大社神使・眷属・五穀豊穡・商売繁昌	
		向かい狐	豊作・厄除け	
		飛び狐	豊作・商売繁昌・子授け・婦人病平癒	
		二匹狐	男女両性を表す・婦人病平癒	
		鍵くわえ狐	鍵は蔵を開き財宝を得る幸運の鍵の意・子宝・くわえるのが鍵	
8	蛇	蛇	井財天・聖天の使い・出雲大社神使・諏訪神社神使(青大将)・芸事上達・良縁・商売繁昌・豊蚕・諸病平癒	
9	百足	百足	毘沙門に使い・赤城神社神使・商売繁昌・毒虫除け・養蚕繁栄	
10	犬(成)	犬	諸願	
11	亥	亥	同上	
12	竜	竜	同上	
13	寅	寅	諸願・家出入の掃宅	
14	鼠(子)	鼠	大黒天の使い・子年生まれの者身体堅固	
		向かい鼠	門口を守る	
15	狸	狸	諸病一切の除け・家業繁栄(大版)	
16	蛙	蛙	天神の使い(千葉市川)	
		蛸蛙	稲荷神の乗り物(千葉)・神使馬	
		ひき蛙		

図5 絵馬シソーラスの内容(一部)

6. おわりに

絵馬収集を通じてフィールド・ワーク(野外調査)における調査・研究活動の一連の流れは重要な活動である。今回のように計画の立案、調査の実施、収集資料の整理・分析、保存・活用などの研究の一連の流れを実際に行うことにより、デジタル・アーカイブ化するプロセスを記録することができた。

本研究の目的の一つは、絵馬の形態・図柄を比較することによって、地域文化の地域ごとの変異・特色を探ることにある。鳥居や狛犬などの石造物、社殿についても写真撮影・築造年代などの記録をとり、地域文化の比較研究材料とすべく資料を蓄積する計画である。さらに、収集資料をデジタル・アーカイブとして記録し、調査・研究成果の公表を計画している。

今回、フィールドワークを実施する場所が、神社という日本古来の信仰の場でもあるため、日常では気づくことの少ない、日本文化の一面面についても認識を深めていきたいと考えている。今回のシソーラスやデータベース項目について、岐阜女子大学の後藤忠彦学長に有益なご指示を頂いた。ここに感謝の意を表する。